

保護者の皆様

札幌市立円山小学校  
校長 加瀬 富久

## 令和8年度 全国学力・学習状況調査の結果について

今年度6年生を対象に実施されました全国学力・学習状況調査の分析結果をお知らせします。調査の目的は、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、次の内容となっています。

- ・全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ・そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

この「全国学力・学習状況調査」について、先の8月に札幌市教育委員会より札幌市全体の傾向の発表がありました。これを受けて、本校の調査結果と札幌市の傾向と合わせまして、成果や課題を分析しました。

ただし、今回の調査は児童が身に付けている学力の一部を測定したもので、学校における教育活動すべての評価ではなく、一側面となります。これまで本校で取り組んでいる様々な教育活動の成果や課題、児童アンケート、保護者アンケートなどを考慮し、改善点として生かしていきます。引き続き、御理解と御協力をお願い申し上げます。

### 【小学校国語】

|           | 本校の概要                                                                                                                                                                                                                                                                             | 今回の調査における課題                                                                                                                                                             | 改善の方向                                                                                                                                                                          |
|-----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 小学校<br>国語 | <p>◎学習指導要領の内容</p> <p>【知識及び技能】<br/>「言葉の特徴や使いに関する事項」<br/>○全国平均を上回っている。</p> <p>「情報の扱いに関する事項」<br/>○全国平均を上回っている。</p> <p>「我が国の言語文化に関する事項」<br/>○全国平均を上回っている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】<br/>「話すこと・聞くこと」<br/>○全国平均を上回っている。</p> <p>「書くこと」<br/>○全国平均を上回っている。</p> <p>「読むこと」<br/>○全国平均を上回っている。</p> | <p>「言葉の特徴や使い方に関する事項」<br/>●漢字を文の中で正しく使うことができる。（ふしぎ→不思議）</p> <p>「書くこと」<br/>●引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。</p> <p>「読むこと」<br/>●文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。</p> | <p>◇漢字の音訓や意味について考える活動や例文を考え伝える学習の充実を図る。</p> <p>◇どの言葉を引用すれば自分の考えに説得力が増すか、例を示しながら、具体的に書く活動を通して学習の充実を図る。</p> <p>◇文章のどの部分を根拠にしたのかを明確にし、事実と自分の考えを分けて整理することで、深く考えられるように学習の充実を図る。</p> |

## 【小学校算数】

### 小学校算数

#### 【領域】

##### 「数と計算」

○全国平均を上回っている。

##### 「図形」

○全国平均を上回っている。

##### 「測定」

○全国平均を上回っている。

##### 「変化と関係」

○全国平均を上回っている。

##### 「データの活用」

○全国平均を上回っている。

#### 「数と計算」

●異分母の分数の大小を判断し、その理由を数や言葉を用いて記述できるか。

#### 「変化と関係」

●百分率で表された割合と比較量から、基準量を求めることができる。

●単位量当たりの大きさを求める除法の式の意味を理解し、その商から混み具合を判断できるか。

●基準量、比較量、割合、の関係が正しく表されている図を選ぶことができる。

#### 「データの活用」

●二次元の表から、条件に合う数を読み取ることができる。

◇既習を関連付けながら、分数の意味や仕組みについて理解が深まる学習の充実を図る。

◇線分図や関係図を具体的に描かせ、数量の相互関係を視覚的に捉えられるように学習の充実を図る。

◇面積や数量を整理し、どの数値をそろえて比較しているのか、式の意味をきちんと理解できるよう学習の充実を図る。

◇表の構造を正しく理解させ、見落としを防ぐ工夫を取り入れながら情報を整理する力を養う学習の充実を図る。

## 児童質問紙による学習状況調査の結果から

### <全国平均より肯定的な回答が上回っている項目>

#### 生活面に関すること

○朝食を毎日食べている。

○自分には、よいところがある。

○自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う。 ○放課後や週末に家で勉強や読書をしている。

#### 学習に関すること

○PC・タブレットなどの ICT 機器を活用することについて

- ・文書を作成する（文字、コメントを書く）ことができる。
- ・インターネットを使って情報を収集することができる。
- ・情報を整理する（図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる）ことができる。
- ・プレゼンテーション（発表のスライド）を作成することができる。

○5年生までの学習で

- ・自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していた。
- ・各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた。

○学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりできた。

○国語に関して、得意、好き、よくわかる、将来役に立つと思う、などと回答をした子が多い。

### <全国平均より肯定的な回答が下回っている項目>

#### 生活面に関すること

大きく下回っているものはない。

#### 学習に関すること

●算数に関して、得意、好き、よくわかる、に対して肯定的な回答が下回っている。

生活面では、朝食を毎日食べる規則正しい生活習慣や、「自分にはよいところがある」という自己肯定感、友達の違う意見を尊重する姿勢がよく育まれています。放課後や週末に家で勉強や読書をする習慣もついているようです。学習面では、タブレット等を使って情報を集めたり、スライドや文章にまとめたりする ICT 活用能力の高さが目立ちました。また、話の組み立てを工夫して発表することや、友達との話し合いを通して自分の考えを深める学習が、しっかりと身についています。教科への意識では、国語に対して「得意」「好き」「よくわかる」と前向きに捉えている子が多い傾向にあります。

一方、学習面では算数に対して「得意」「好き」「よくわかる」と答えた割合が全国平均を下回っていました。算数への苦手意識を減らし、自信をもたせていくことがこれからの課題です。

今後は、子どもたちの強みである ICT のスキルや話し合う力を他教科にも生かしていきます。特に、表や図から数字を正確に読み取ることや、単位量・割合の計算などでは、考えるプロセスを丁寧に指導し、「わかった」「できた」という成功体験を積み重ねてまいります。